

# 一 般 質 問 要 綱

令和5年第2回3月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	4	十二村秀孝	<p>1 地域計画（人・農地プラン）の策定について</p> <p>令和4年5月、地域の農地利用の将来像を描く人・農地プランを「地域計画」として法定化する法案が可決されました。この地域計画では、農地1筆ごとに将来の利用者を特定した「目標地区」を柱として、複数集落や小学校区などの一定区域ごとに農地の地域計画を令和6年度末までに策定する必要があります。</p> <p>そこで、次の5点について伺います。</p> <p>(1) 本市における人・農地プラン作成の現状について伺います。</p> <p>(2) 地域計画の策定に向けた具体的な進め方について伺います。</p> <p>(3) 地域計画の実現に向けた支援措置があるのか伺います。</p> <p>(4) これまで作成された人・農地プランは、どのような取扱いとなるのか伺います。</p> <p>(5) 令和6年度末までに地域計画が策定できなかった場合、どのような影響があるのか伺います。</p>
			<p>2 農業経営持続化緊急対策について</p> <p>令和4年9月議会において、市独自による農業経営の持続化に向けた緊急対策として4事業の取組が可決されました。その中で、有機資源利活用促進緊急対策事業では、堆肥等の有機資源の利活用や秋耕により化学肥料の使用低減を目指すものとしています。</p> <p>そこで、次の3点について伺います。</p> <p>(1) 有機資源利活用促進緊急対策事業の申請状況について伺います。</p> <p>(2) 化学肥料をはじめ生産資材が高騰し続ける中、化学肥料の低減につながる地域有機資源の活用に向けた取組をさらに推進する考えはないのか伺います。</p> <p>(3) 特別栽培や有機栽培の作付拡大に向けた今後の具体的な取組について伺います。</p>
			<p>3 ふるさと納税について</p> <p>令和4年12月定例会において質問しましたが、ディスプレイ広告掲載後の納税額の推移については、12月中旬頃に確認できる見込みとのことでした。</p> <p>そこで、次の2点について伺います。</p> <p>(1) ふるさと納税の令和4年11月から現在までの推移について伺います。</p> <p>(2) 本市、北塩原村及び西会津町の3市町村共通返礼品の提供状況について伺います。</p>
2	19	後藤誠司	※ 通告を取り下げました。
3	13	齋藤仁一	<p>1 新図書館建設について</p> <p>(1) 当初計画面積より600㎡増の約2,100㎡となる計画であるが、財政的には当初見込みよりどの程度増額となる見込みなのか。また、その財源内訳も含めてどのような財政計画になるのか伺いたい。</p> <p>(2) 旧喜多方東高校について、県の方針では、無償譲渡や改修費用への補助金創設など所在市町村の利活用支援策を打ち出すとされて</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>いるが、ここを新図書館として進める考えはないか伺いたい。</p> <p>2 小中学校統廃合計画及び教育関連施設の利活用について</p> <p>(1) 「高郷地区に小中学校を残す会」では、アンケート調査結果を踏まえて市長に要望書を提出したが、どのような回答をしたのか伺いたい。</p> <p>(2) このことを受けて、市は小中学校適正規模適正配置実施計画(案)について、どのように進める考えなのか伺いたい。</p> <p>(3) 高郷中学校の寄宿舎を改修し、グリーン・ツーリズム等の活動に活用するとなっていたが、利活用の実態はどうなっているのか。また、活用するための方策はできているのか伺いたい。</p> <p>(4) 耶麻農業高校の廃止後の利活用について検討を始める必要があるが、市はどのような対応、対策をするのか伺いたい。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による喜多方市内の事業者及び働く方々の実態はどうなっているのか。特に、社会福祉協議会で行われている生活困窮者相談件数及びその内容、住居確保給付金の申請及び支給実績、生活資金貸付申請及び支給実績に関して、2年間の推移を伺いたい。</p> <p>(2) 生活保護申請と支給決定の3年間の推移を伺いたい。</p> <p>(3) これらを受けて、市は新年度どのような対応策を講じるのか伺いたい。</p> <p>4 障がい児を預かる施設での虐待について</p> <p>(1) 1月6日、会津若松市の施設で障がいのある児童に対して虐待があったことがテレビ報道されたが、この中に喜多方市の児童も入っていたとのことである。市は実態把握と、対象児童及び保護者にどのような対応をしたのか伺いたい。</p> <p>(2) このことを受けて、市は県及び障がい児を預かる施設へどのような対策を講じたのか伺いたい。</p>
4	3	山口文章	<p>1 公共施設のネーミングライツ導入について</p> <p>ネーミングライツとは、公共施設に企業名や商品名などをつける施設の命名権のことで、1990年代後半以降、世界各地で進められています。2003年に「東京スタジアム」が「味の素スタジアム」に変更されたのが日本では最初であり、これをきっかけに、日本全国における多くのスポーツ施設がネーミングライツを導入してきました。</p> <p>導入により、企業側と自治体側にそれぞれの効果があり、本市にも早期導入を実現したいと思うが、導入についての考えと今後の取組について伺います。</p> <p>(1) 県内自治体でも導入が進んでいますが、ネーミングライツについての本市の考えについて伺います。また、今まで導入に向けての取組は無かったのか伺います。</p> <p>(2) 本市の対象となる施設について、何件あるのか伺います。 対象として考えられる文化施設、社会教育施設、スポーツ施設、</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>観光施設の施設数を伺います。</p> <p>(3) 民間の活力を生かして、市の財政を手助けしてもらおうと同時に、地域にある企業の広告塔として経済を支えていく、行政と民間がお互いにwinwinの関係を築くことができる、ネーミングライツの早期導入を提案したいと思いますが、伺います。</p>
			<p>2 2022年8月豪雨災害について</p> <p>2022年8月3日、4日の豪雨で、本市において甚大な被害が発生しました。本市は、このたび農業利用被害箇所の復旧工事費の自己負担割合を変更し、すべて市で対応することになりました。この変更は、市民の方々から大変感謝され、喜ばれています。今回の豪雨では、地域の立地企業にも浸水被害や土砂侵入被害などがありました。</p> <p>本市は、今後の対策のひとつとして、激甚化する自然災害の防災対策の充実強化を図るため、立地企業が行う防災対策経費等に支援を行うため、令和5年度の予算では立地企業防災対策事業として計上しておりますが、企業の防災支援について、市の考えについて伺います。</p> <p>(1) 本市の今回の豪雨災害で被害にあった企業数について伺います。</p> <p>(2) 立地企業防災対策事業の概要について伺います。</p> <p>(3) 誘致した企業の防災対策は、特に災害の未然防止を図る恒久対策まで必要と考えますが、市の考え、また今後の取組について伺います。</p>
			<p>3 市内小中学校の保護者負担経費について</p> <p>間もなく市内小中学校で入学準備などが始まる時期ですが、制服、運動着、上履き、筆記用具など揃える物は多くあります。その結果、保護者の負担は大きくかかると思います。その他、入学から卒業まで様々な経費がかかり、現在、物価高騰の中、保護者の負担はかなり重くなっていると考えております。</p> <p>全国的に、これらの問題は「隠れ教育費」として問題提起されておりますが、本市の考えと取組について伺います。</p> <p>(1) 義務教育における教材について</p> <p>ア 教材費について学校側、保護者側の費用はどのような判断基準としているのか、各学校や各先生に任されているのか伺います。</p> <p>イ 文部科学省による子供の学習費調査(2018年度)によると、学校教育費として保護者が負担した年間平均額は公立小の場合、約63,000円、公立中は約130,000円です。市内小中学校の保護者が負担する年間金額の小学校における平均額と最高額、中学校における平均額と最高額について伺います。</p> <p>ウ ワークやドリルなどの副教材の購入先はどのように決定しているのか伺います。</p> <p>エ 教育費(副教材費など)、教育活動に必要な保護者負担を減らすために、今までに取り組んだ事業はありますか、伺います。また、本当に必要とする教育費か検証したことがあるのか、検証はどのように行ったのか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>オ 生活困窮者などへの教育費負担について、どのような取組をされているのか伺います。</p> <p>(2) 負担軽減の取組について</p> <p>ア 市内小中学校の運動着、上履きなどは学校指定品となっておりますが、保護者の多くは、それらの費用に負担を感じています。市内小中学校の運動着、上履きなどの指定品は、学校別に価格に差異はあるのか伺います。</p> <p>イ 保護者側の教育費の負担軽減に取り組む自治体も出てきています。運動着について、各学校ごとにコンペを実施し、今までの価格より3,000円も安くなった例や、半袖・短パンや上履きなどは指定品ではなく、いくつかの決まり（色、形）だけ設定し、自由にした例もあります。また、学校側で使用頻度の確認を実施し、頻度が低い物は、学校側で準備し、貸出しするなど、実施できることはあると思いますが、考えを伺います。</p> <p>(3) 通学支援について</p> <p>私自身の過去の一般質問で、自転車通学生徒への冬期間における通学支援についてお聞きしました。その結果、検討するとの前向きな回答がありましたが、その後の検討結果と、実際にどのような支援に取り組むのか伺います。</p> <p>(4) 今後の市の支援について</p> <p>小中学校の保護者負担経費軽減についての、今後の取組について伺います。</p> <p>令和5年度に取組予定の小学校入学祝金支給事業の概要について伺います。</p> <p>また、今後、中学校入学祝金も必要と思いますが、支給する考えがあるのか伺います。</p>
5	2	小 澤 誠	<p>1 賃金の格差是正について</p> <p>地域経済の拡大再生産のためには、働く者の賃金引上げが必要です。その第一歩が賃金の格差是正だと思います。</p> <p>(1) 福島県の労働者の最低賃金が「Dランク」になっているのはなぜか。なぜ全国一律（同一水準）にならないのか。</p> <p>(2) 本市の会計年度任用職員の賃金を引き上げて、正規職員との賃金格差を縮小すべきではないか。</p> <p>2 ごみの減量化について</p> <p>「ごみ減量と3R活動を推進する資源循環型のまち喜多方」と言っているが、実現のためには、3R活動を啓発から、市民の協力を得ながら事業化へと、具体的な取組にしていかなければならないと思う。</p> <p>(1) 「喜多方市一般廃棄物処理基本計画（平成29年度～平成38年度）」の「ごみ処理計画」に掲げられた各種施策を市が市民に啓発することによって、10年間でごみは何%減になる見込みか。</p> <p>(2) 生ごみの堆肥化、プラスチック製容器包装のリサイクル、木・竹・わら等を木質系バイオマスとしてリサイクル、紙・布のリサイクル</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>の徹底（事業化）ではどのくらい減量できるか、検討したことはあるか。</p> <p>3 複合施設第2期工事基本計画の見直しについて 基本計画の案では、喜多方市民の社会教育活動を発展させるものになっていません。このまま計画を進めれば、後世に禍根を残すことになることを心配せずにはられません。 以後の事業スケジュールは凍結して、基本計画の見直し（再検討）を求めます。市の考えをお聞かせください。</p>
6	20	佐原正秀	<p>1 住民と職員の負担を抑えるツールの活用について コストや人員の削減に迫られている一方で、住民ニーズが多様化・複雑化しつつある昨今、自治体はこれまで以上に業務効率化を図りつつ、質の高い行政サービスの向上に努めていくことが求められています。 それには、自治体専用のツールによる業務改革、住民サービスのオンライン化、窓口申請のデジタル化といった対策など、今後の取組が重要と考えますが、本市の対応についてお尋ねいたします。 (1) 誰もが使える電子申請サービス体制について (2) 住民サービスをLINEに実装する取組について (3) マイナンバーカード利活用の推進について</p> <p>2 住民の未来を支える教育・福祉策について 少子高齢化が急速に進む本市において、高齢者の健康寿命を延ばした、住民がより暮らしやすくするための支援が求められています。一方で児童・生徒に向けた教育の強化も欠かせません。 地域包括ケアに関する情報発信、学童保育運営の民間委託、教職員と保護者のコミュニケーション強化といったテーマによる取組が重要であり、住民の未来を支える施策づくりが求められますが、本市の対応についてお尋ねいたします。 (1) 地域包括ケアに関する情報発信について (2) 地域包括ケア専用サイトの取組について (3) 学童保育運営の民間委託について (4) 保護者への確実な情報伝達手段の取組について</p> <p>3 認め合い、歩み寄ることから始まるまちづくりの推進について SDGsの「誰一人取り残さない」という理念のもと、多様性が尊重される社会の実現に向けての取組が全国で活発化しております。社会生活に困難や不安を抱いている本人だけでなく、周囲の人々にも気付きを与え、住民の意識を変革させるには、自治体の姿勢がカギとなるものと考えます。 今後は、従来の啓蒙・啓発活動にとどまらず、様々な分野で一歩進んだ取組が求められます。あらゆる住民がつながる機会や働く場所づくり、その輪をさらに広げる対策が重要と考えますが、ありのままで誰もが生き生きと暮らせるまちづくりなど、本市の対応についてお尋ねいたします。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 多様性を尊重するまちづくりについて (2) 人生100年時代に向けた支援策について (3) 農業と福祉の連携で目指す多世代交流の取組について (4) 新たな雇用を創出する就業支援について
7	1	矢吹哲哉	1 「敵基地攻撃能力保有」についての市長の見解について (1) 市長の見解を伺う。 (2) 喜多方市「非核平和のまち宣言」にもとづく非核平和のまちづくりに関する取組の充実強化について ア 本庁舎、各総合支所に「非核平和のまち」の垂れ幕を設置すべきと考えるが、見解を伺う。 イ 8月には本庁舎、各総合支所のホール、ロビーにおいて、被爆や戦争の被害の様子を知らせるパネル等の展示を行ってはどうか、伺う。 ウ 市民の非核平和の取組への助成の現状と、補助の拡大について伺う。 2 喜多方市学校給食基本方針について (1) 「世界に自慢できる『ふるさときたかた学校給食』」とは具体的にどのような学校給食なのか伺う。 (2) 地産地消、化学肥料や農薬を低減した農産物を提供するとしているが、生産者の確保、拡大はどのように進めるのか、具体的な施策について伺う。 (3) 学校給食費を全額無償化する市町村が増えている。本市も実施すべきと考えるが、市長の考えを伺う。 3 8・3大雨災害の検証と復旧について (1) 検証の状況を伺う。 (2) 復旧についての住民の要望は、復旧に反映されているのか伺う。 ア 工事の進捗状況について伺う。 イ 工事施工に住民の要望は取り入れられているのか伺う。 ウ 一ノ戸川、五枚沢川及び早稲谷川において、河川からの取水口に土砂が流入しにくい対策、河川の整備が必要と考えるが、設計に反映されているか伺う。 エ 河川（一ノ戸川と一ノ戸川に合流する河川）の復旧・改良整備について伺う。
8	21	山口和男	1 旧甲斐家蔵住宅の整備について 旧甲斐家蔵住宅は、国の登録有形文化財としてこれまで登録されていた店蔵、座敷蔵、醤油蔵に加え、令和3年7月16日付で主屋、味噌蔵、麴蔵、稲荷社、表門、裏門及び塀が追加されました。これら全体の復元修理工事をし、一般公開としての活用を図る活用方針が示されました。そこでお尋ねします。 (1) 基本設計は、8億5,863万6千円の概算事業費で、愛媛県内子町の上芳我家住宅の復元修理工事を参考にしたとありますが、この数字の正確性はどのように読み解けばよいのでしょうか、伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) それぞれの屋敷内の蔵群は元に近い復元修理ができるでしょう。しかし、表門やれんが塀、白の御影石の杭はどうなされるのか、ここも当時のまま復元して往時をしのぶ和洋折衷のコンセプトにより近いものにすべきと考えますが、いかがか伺います。</p> <p>(3) 財源については、国庫補助金と特定財源は分かりますが、ふるさと納税とガバメントクラウドファンディング制度の取組内容を示してください。また、そのリスクはどう認識しておるか伺います。</p> <p>2 愛の31文字コンクール事業について</p> <p>(1) 16年間続いた事業の終焉の理由と、中央公民館で事業を引き継ぐとした理由をお聞かせください。</p> <p>(2) 令和4年度は事業がありませんでしたが、令和5年度はどのような予定か伺います。</p> <p>(3) 愛の31文字コンクールは、短歌のコンクールでなく人づくり、町づくりの素晴らしい事業であり、その名声は国土交通省も動かし、「恋人坂」「恋人岬」は熊倉の伝統文化とされる「短歌」を継承し、「愛の31文字コンクール」を行うため雄国西山麓に「恋人坂」「恋人岬」を設置し、そしてこの地に集う若者の情感と感性に訴え、「雄国」「熊倉」「喜多方」を心にとどめ、地域への愛着を増幅するために実施したのが「恋人坂、恋人岬『愛の31文字コンクール』」だと思います。</p> <p>私は短歌は読めませんが、故・山本佑一郎先生が主導して16年間続けた事業は、当時の市長から「喜多方の知名度を日本中に高めてくれてありがとう」との称賛の言葉や、高崎市との歴史交流、安曇野市との熊倉サミットなどにおいて事業の「波及度を高める」までになり、「恋人坂、恋人岬」銘柄の酒の醸造や菓子、さらには熊倉の特産物の竹細工をはじめ、蕎麦、高原野菜等、熊倉グルメを設定し、経済力を高めるまで見通せたのも、氏の先見性の表れと思います。</p> <p>こう考えれば、この事業の総括はどうなされたのかお聞かせください。</p>
9	6	小島 雄一	<p>1 都市計画について</p> <p>昨年12月定例会における一般質問において、「まちなかの都市再生整備計画に着手した」という答弁があった。計画の内容はまだ十分に検討されていないのかもしれないが、本市の都市部の将来の姿に関わる問題であるだけに、その内容について伺う。</p> <p>特に本市の中心部は古い街がそのまま残っているため、狭隘な生活道路が多く、緊急車両の通過も困難な場所も多い。崩れ始めた空き家など、安全面での心配もある。</p> <p>財政の厳しさは理解する所だが、時間はかかっても計画的な整備が必要であると思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 事業の概要について、目的、対象区域、面積、事業費、交付期間、着工時期について伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) 月見橋、緑町通り線の整備を含めるのか伺う。</p> <p>(3) 緑町通り線沿いの土地建物が寄贈されたと聞くが、活用計画はあるのか伺う。また、第一保育所跡地の活用についてはどうか伺う。</p> <p>2 文化芸術政策について</p> <p>(1) 昨年実施された将棋の日の総括をどのように行ったのか伺う。また、今後の将棋振興の方向性をどのようにするのか伺う。</p> <p>(2) 「愛の31文字コンクール」は、中央公民館において市全体として取り組むということであったが、どのように実施するのか伺う。</p> <p>(3) 文化芸術政策の担い手育成をどのようにするのか伺う。</p>
10	10	遠藤吉正	<p>1 経済対策について</p> <p>令和2年1月から始まったコロナ禍はすでに3年目を迎え、商工業等を含む地域産業は困難な経済環境の中で最も苦しい状況にある。しかしこの厳しい状況は、コロナ禍前から既に社会変化に伴う地域経済の縮小化や消費行動の変化等により始まっており、その後のコロナ禍、さらにはウクライナ問題を発端とする物価高騰等によりさらに加速され、何重にも厳しい経営環境を強いられている。</p> <p>この現状及び今後の経済対策について、市の見解を伺う。</p> <p>(1) 本市の経済状況をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>ア 令和2年1月から3年間で、本市において廃業・休止した店舗・企業等の数について伺う。</p> <p>イ 市として、この状況をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>ウ 後継者問題から廃業をする経営者が今後も増えると考えられるが、市としてどのように捉えているのか。また、対策についても伺う。</p> <p>エ 今後、経済が回復した場合の課題についてはどのように捉えているのか。また、コロナ融資の返済ピークが今年7月から来年7月までと言われているが、未だ経済が回復しない中で、市としてどのような支援をしていくのか伺う。</p> <p>オ 令和5年度予算案において、新規の経済対策予算がなかったがその理由について伺う。また、市として今後、経済対策を関係団体とどのように図っていくのか伺う。</p> <p>2 観光振興対策について</p> <p>コロナとの共存による経済活動で、これから4月に開催されるさくらまつりにおいても官民一体となった連携が必要であり、そのことがこれまで培ってきた本市の財産であり、これからの観光振興の原動力と考える。</p> <p>そこで、さくらまつり期間中における観光振興対策について、市の見解を伺う。</p> <p>(1) さくらまつり開催時における観光振興対策について伺う。</p> <p>ア これまでも提案してきた旧商業高校跡地及びかけっこ広場の物産PR・物産販売について、どのように検討されたのか伺う。</p> <p>イ さくらまつり期間中における市内の渋滞緩和策として、JRに</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>よる臨時列車運行について提案したが、どのように検討されたのか伺う。</p> <p>ウ さくらまつりについて、民間とどのような連携を図って本市の観光振興を講じていくのか伺う。</p>
11	5	上野利一郎	<p>1 有害鳥獣被害対策について 本市における令和4年度の有害鳥獣被害について、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 令和4年度の市内5地区の被害状況について ア ツキノワグマ・イノシシ・猿の捕獲実績について伺います。 イ 農作物への被害金額についても伺います。</p> <p>(2) 令和4年度の電気柵支援事業について ア 電気柵購入補助事業の市内5地区への補助実績（計画作成地区・個人・団体）と総延長距離について伺います。 イ 電気柵貸出し件数についても、市内5地区別の内訳を伺います。 ウ 昨年8月の豪雨による電気柵への影響について伺います。</p> <p>(3) 令和4年度の有害鳥獣対策事業の総括と今後の取組について ア 集落環境診断数や電気柵購入補助事業の内容及び追い払い煙火の配布状況、農作物被害状況等の結果から、どのように総括されているのか伺います。 イ 令和5年度の本事業の取組方針と予算措置について伺います。</p> <p>2 消雪施設について 本市は県内において、除雪と消雪に関して、他市町村から高評価を受けている自治体である。今冬も断続的な寒波の影響により積雪が多く、かなりの頻度で消雪施設が稼働している。 そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 消雪施設の更新について ア 消雪施設の供給開始時期等、老朽化に応じて消雪施設を更新すべきであると思うが、現在本市で更新対象となっている地区や箇所について伺います。 イ 消雪施設の更新計画について伺います。</p> <p>3 水道事業について 入田付地区の水道事業もほぼ終息し、今後の水道事業の予算配分も従来からの課題解決に充てるべき時期であると考えます。 そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 老朽管の漏水修繕と布設替えについて ア 過去に布設され年数が経過した配水管等は、経年劣化により破損・漏水が発生しやすいが、このような老朽管の劣化が原因とされる漏水修繕費の推移について伺います。 イ 布設替えすべき対象の距離数はどれくらいあるのか、またこれまでの布設替えの進捗内容について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
12	7	渡部 一 樹	<p>1 当初予算について</p> <p>(1) 令和5年度当初予算において、人口減少対策に資する主な事業は何か伺いたい。また、数値目標を設定しているものはあるのか伺いたい。</p> <p>(2) 子育て支援に関する主な事業について伺いたい。また、数値目標を設定しているものがあれば伺いたい。</p> <p>(3) 保護者負担軽減の観点から、給食費の無償化について、現在の考え方を伺いたい。</p> <p>(4) 予算編成の考え方について、市が説明する「重点・選別化」をもっと踏み込んで予算を組むべきではなかったのか。既存事業の見直しの余地はまだあるように考えるが、見解を伺いたい。</p> <p>2 地域経済の活性化について</p> <p>(1) コロナ禍や物価高で地域経済は大変疲弊している。市内の経済状況について、市の認識を伺いたい。</p> <p>(2) 令和5年度当初予算において、地域経済活性化に資する主な事業は何か伺いたい。</p> <p>(3) 起業する方への一層の支援強化が必要と考えるが、見解を伺いたい。</p> <p>3 県立高等学校の空き校舎利活用の方針を受けた市の対応について</p> <p>(1) 旧県立喜多方商業高校跡地については、今回の方針に該当しないとのことだが、今後の県との連携の考え方について伺いたい。</p> <p>(2) 県立耶麻農業高校統合後の利活用について、基本的な考え方を伺いたい。</p> <p>4 ひとつづくり・交流拠点複合施設の整備・運営について</p> <p>(1) 第2期施設の面積が基本構想時よりも増加したが、主な理由について伺いたい。</p> <p>(2) 第2期施設については民間活力を最大限導入することを目指すべきと考えるが、見解を伺いたい。また、今般示された基本計画について、民間からアイデアを募るのも一つの方法だと考えるが、見解を伺いたい。</p>
13	9	菊地とも子	<p>1 子育て支援について</p> <p>(1) 出産・子育て応援交付金事業について</p> <p>(2) 小学校入学祝金支給事業について</p> <p>(3) 子育て応援パック支援について</p> <p>(4) 子育て応援自動販売機について</p> <p>(5) 男性育休について</p> <p>(6) 子ども・子育て憲章について</p> <p>2 県立高等学校跡地について 県立高等学校跡地等への対応について</p>
14	12	関本美樹子	<p>1 持続可能な地域社会の在り方について</p> <p>(1) 本市における小・中学校の不登校児童・生徒は過去3年間でどのような推移をたどり、現在に至っているか。その主な原因とそれに</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>対する支援・対策はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2) 今、社会全体で子供の成長を見守り、支援していく時代にあって、子供主体に関する「子供条例」を制定する計画はあるかどうか伺う。 (例・「のびのび育つ子供基本条例」等)</p> <p>(3) 塩川町「日橋川・川の祭典」の反省点を基に、コロナ禍以前の実績までに取り戻す施策としてどのような計画があるか伺う。</p> <p>(4) のるーと喜多方みんべえ号の開始当時から今までの実績と今後のエリア拡大予定、またさらなる市民への浸透及び利活用促進をどのように図っていくか伺う。</p> <p>2 塩川町の「まちづくり」をどのように計画し推進していくか 塩川町の東西自由通路完成予定（R7年度）を見据えて、東西のバランスのとれた「歩いてくらせる町づくり」をどのようにしていくか伺う。</p> <p>(1) 塩川町の特性を本市との関係性の中でどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 駅周辺の開発効果をまち中心にまでどのように波及させていくか伺う。</p> <p>(3) まちづくりのリーダー育成をどのように考えているのか。また、住民の意見をまちづくりにどのように反映させていくか伺う。</p>
15	8	蛭川靖弘	<p>1 イクボス宣言以降の本市職員の育児休業の状況について 本市では2018年9月に、市職員の働きやすい職場環境づくりと、ワークライフバランスの実現を図るため、市長をはじめ全管理職がイクボス宣言を行っている。このことについて、その後の経過を伺います。</p> <p>(1) イクボス宣言から4年半が経過したが、働きやすい職場環境や、ワークライフバランスの実現は、イクボス宣言によって効果は上がっているのか。数値的な根拠をもって説明を求める。</p> <p>(2) 2018年以降、育児休業及び介護休暇を取得した職員数とその延べ日数、またパパ休暇（2022年9月まで）、産後パパ育休（2022年10月以降）を取得した職員数について、年度ごとの数値、またその評価について伺う。</p> <p>(3) 本市では、令和4年4月より喜多方市イクボス宣言事業所の公募を行っているが、これまで集まった事業所の数について伺う。</p> <p>2 少子化対策のための行政支援について 本市の少子化は深刻で、2022年度に生まれた新生児は統計調査が始まって以来最少の209人とどまる見込みと報告されている。本市では、2019年12月に長期人口ビジョン（第2版）を作成、その中で希望出生率を2.07と設定し、「子育て環境の充実や婚姻率の上昇を図り、若者の結婚・出産などに関する希望をかなえ、希望出生率の実現を目指す」としています。</p> <p>(1) 2020年の国勢調査及び県の推計人口を見ると、本市の人口は長期人口ビジョンで掲げた将来展望人口はもとより、国立社会保障・</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>人口問題研究所（以下、社人研）が予測している基準モデルを更に下回って減少している。以前にも一般質問で質したが、その要因についてどのように分析しているか伺う。</p> <p>(2) 長期人口ビジョンでは、2025年の出生率を1.9、0～4歳児の人数を1,631人と目標設定しているが、実際には対比されている社人研の基準モデルを下回って推移している。特に1歳区分平均値については、私が調べたところでは、「平成30年度から令和3年度の出生数」及び「令和4年度の出生見込数」の平均値が255人となり、社人研の基準モデルの予測より3年早く（基準モデルでは、2025年に252人）少子化が推移していることが分かる。このことは大きな課題であると考えるが、その要因についてどのように分析しているか伺う。また、今後の対策について伺う。</p> <p>(3) 全国の少子化対策の成功事例を見ると、例えば島根県邑南町では「すべての母子について十分に目配りの効く体制」を目指すという目標を掲げ、人口1万人足らずの町ながら、町役場に正規職員保健師が15名（平成30年実績）も配置されている。本市の正規職員保健師の数を伺う。</p> <p>(4) 少子化の要因としては、非婚化、晩婚化が大きな要因として考えられている。その対策として、お隣の山形県と県内自治体が運営する「やまがたハッピーサポートセンター」は絶え間ない出会いの創出事業を行っており、大きな成果を上げている。福島県でも、同様の機能として県が運営する「はび福なび」（ふくしま結婚・子育て応援センター）があるが、情報量も少なく、結婚や出産に関する相談事業も週に1～2度程度と他県に比較して貧弱である。</p> <p>また、「はび福なび」のオンライン型出会いシステム（有料）について、自治体によっては無料で利用できる支援を行っているが、本市では行っていない。非婚化、晩婚化に対する積極的な施策、支援は行わないのか。</p>
			<p>3 カーボンニュートラル宣言以降の進捗について</p> <p>本市では、令和3年9月に「喜多方市カーボンニュートラル宣言」をし、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととした。その後1年半が経過したが、その進捗について伺います。</p> <p>(1) 中期目標として、基準である2013年の本市の二酸化炭素排出量に対して、2030年までに46%削減するとあるが、その見通しについて伺う。</p> <p>(2) 昨年度及び今年度、環境省では脱炭素先行地域の公募を1月と7月と2月に合計3回行っており、以前私はこの脱炭素先行地域へ手を挙げるべきだと提案したが、その後の進捗について伺う。</p>
			<p>4 自治体DXの推進について</p> <p>総務省では、令和2年12月より自治体DXの推進をしており、令和4年6月には、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、デジタル社会というものがより具体化されました。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 喜多方市総合計画（2017～2026）では、第2編基本構想第1章基本的な課題と将来の都市像の中で高度情報化への対応をうたっており、以前私が行った質問に対して、2022年度中に「高度情報化計画」を策定すると答弁しているが、その後の進捗について伺う。</p> <p>(2) 令和5年度当初予算の総合計画に基づく各種施策には、DXという言葉が見つからないが、自治体DXの推進についての基本的な考えを伺う。</p>
16	16	齋藤勘一郎	<p>1 豪雨災害について</p> <p>(1) 昨年8月3日、4日の記録的大雨から、7カ月がたとうとしていますが、山都地区でいち早く災害復旧工事に着手した4つの水路の工事について、進捗状況はどのようになっていますか伺います。</p> <p>(2) 被災した農地、農業用施設1,034か所のうち、国の災害査定対象外（市の全額補助）となった434か所の工事は、春の耕作に間に合うようなスケジュールになっているのか伺います。</p> <p>(3) 濁川橋りょうの復旧工事について、直近の新聞報道では作業は順調に進んでおり、当初の予定通り、復旧時期は今春の見込みであると示された。また、喜多方・山都駅間の再開通時期は未定とのことであった。市では開通に向けたイベントを計画中であるが、今後の復旧工事の完成及び磐越西線の再開通について伺います。</p> <p>2 林業振興策（ナメコ栽培）について</p> <p>去る1月12日、山都町新春の集いが開催され、講演会は「流通ナメコの起源は60年前の喜多方市山都町にあり」との主題でありました。この講演を聞かれた方の中には、ナメコの栽培に興味を持ち、菌床ナメコ、原木ナメコを山都の特産品として生産できないかとの話をする方もおりました。</p> <p>(1) 令和5年度当初予算にナメコに関する新規事業がありますが、栽培を希望する人に対する、今後の対応について伺います。</p> <p>(2) 講演会の中での質問についてですが、現在原木ナメコの生産をされている方より、原木ナメコの種駒の研究について要望がありましたが、この件についてどのように要望していくか伺います。</p> <p>(3) 現在、原木ナメコ生産者が被害を受けて困っているということを聞きました。有害獣による被害で、猿による食害とイノシシがほだ木を倒すということでした。これらの被害対策について伺います。</p>
17	14	田中雅人	<p>1 「水路に清流を流す事業」の提案について</p> <p>どこの観光先進地でも、誘客に成功している街の水路は、清流が流れているのが特徴的です。飯豊山の伏流水に生かされ、発展してきた本市の地場産業や「ラーメンの町～喜多方」に似合うのは、やはり「清流の流れる街づくり」です。山陰の小京都といわれる津和野は、水路である清流に錦鯉が泳いでいて、品のある町の姿を訪問者に印象付けています。</p> <p>本市は、これまで水路に清流を流す努力はどう進んでいるのか、その経緯と現状、今後の市の取組を伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 雄国山麓と周辺地区の整備、活用について</p> <p>(1) 市は「雄国山麓一帯」をどう位置付けているのか、伺う。</p> <p>(2) 雄国山麓の薬木・薬草の調査はされているのか、伺う。</p> <p>(3) 旧営林署の活用はできないか、伺う。</p> <p>(4) 唐沢・深沢地区は、環境省が全国から選定している「重要里地里山500」に選定されているが、どう生かされているのか、伺う。</p> <p>(5) 塩川・金森線は拡幅部分が未施工のままである。市の管理であり、急ぎ対応すべきでないか、伺う。</p>
			<p>3 雄国沼とシャトルバス運行について</p> <p>  昨年の雄国沼のニッコウキスゲが咲き誇る姿は見事と言えるものでした。また、6月半ばから7月半ば頃まで、期間限定で乗用車の乗り入れが制限され、萩平駐車場から金沢峠まで、狭い山道を下りのシャトルバスは途中待機しながら往復運行しています。</p> <p>  そこで、コロナ禍の先を見据え、自然愛好者の増による交通安全への配慮が必要と考えます。</p> <p>  回遊方式（萩平～金沢峠～下り塩川ルート～萩平駐車場）を検討すべきではないか、伺う。</p>
			<p>4 飯豊スギの活用について</p> <p>  飯豊スギは36haの特別母樹林があり、昭和34年から55年までに、国有林160haに約24万本が植林されています。民有林にも1万本を超える植林がされています。そろそろ伐木時期を迎える飯豊スギが考えられます。</p> <p>  飯豊スギの利用・活用計画について伺う。</p>